

## 若い人のチャレンジと活躍を応援

上位になったカードがチャレンジです。  
学生のチャレンジとして、高校生のような若い人を呼んで、自分がワクワクしてチャレンジしたいことをプレゼンテーションしてもらいます。  
参加費を 1000 円位とり、全員で投票して 1 位の人にクラウドファンディングのように資金を出して応援します。  
その縁がどんどん広がっていき、高校生がチャレンジして、その人たちが活躍する。  
そういう縁をつくっていくことを考えました。

〔ウェルビーイングカード：チャレンジ、応援、縁〕

## 互いをつなぐ仕組みで全世代の成長を応援

子どもも大人も、廿日市市の全世代の成長を応援する。  
仲間がいた方が早く成長できるので、応援してくれる仲間、相互に助け合える仲間がほしい。仲間になるためには、お互いに助け合える仕組みを作っていきたい。  
小学校での学習ボランティア、高齢者向けの体操などをもっと大きくくりでやるために、“ボランティア・ペントリーグループ”のような活動を市民センターするのがいいのではないか。廿日市市では、実は市民センターやコミュニティスクールで活動が行われているが、活動が知られていない、知っていても入りにくい、メンバーの高齢化などの課題がある。互いをつなぐ仕組みとして、協議会のようなグループを活用していければよいと考えました。

〔ウェルビーイングカード：成長、仲間、思いやり〕

## 市内全学校が持ち回りで宮島のゴミ拾い

親子でいろいろできるかなと考えたのが、ゴミ拾い。  
しっかりやっていてよかったと聞いたこともあり、PTA 活動では高校生や中学生の反応も良かった。  
宮島に来る人は表しか見ていないが、通りの裏や海岸付近にはゴミがたまっている。それを教育委員会で共有して、市内の全学校が持ち回りで 1 年間宮島で清掃活動をすれば、子どもたちも年に 1 回ぐらい宮島を見ながら考えることもできるし、きれいになるのでもいいのではないかと考えました。

〔ウェルビーイングカード：協調、感謝、自然・生命〕

## 気軽に楽しいテーマを選んで地域の交流

地域の集まりをテーマにしました。  
地域には縁があって、適当な距離感や空気のような近所づきあいがあって、お互いが気軽に集まることのできることで、災害があった時にはお互いに助け合う互助の精神がいるのではないかと。  
交流を実際に進めていくためには、一緒に作業をしたり、気軽に楽しいテーマを選んだらいいのではないかと。  
ことで、具体的な内容は時間があったら考えてみたいと思います。

〔ウェルビーイングカード：縁、互助、受容〕

## ありがとうを言おうキャンペーン

イベントキャンペーンを考えました。  
グループのメンバーは、高校生、子育てが終わってこれからどうしようかと考えている世代、家庭にいて育児でバタバタしている世代。「旦那さんがありがとうって言うことに、最近になって気づいた」という話から、「ありがとう」を言おうというキャンペーンにしようということを決めて、カードを選びました。  
感謝ということと、相手への思いやりがないとその言葉が出てこない、ありがとうと言うことによって家庭内が平和になる、というところを考えました。

〔ウェルビーイングカード：感謝、思いやり、平和〕

## 感謝・共感・成長・チャレンジを大切にする

地域コミュニティについて話をしました。  
感謝があって、そこから共感につながって、相手が求めるようなことができていったら、成長したり、チャレンジしたりできるのではないかと。  
この 3 つをベースにしたら心の平穏とか主体性とか、自分らしさとか、熱中とかにつながり、チャレンジして成長できると達成感であったり、平和になっていったり。感謝～共感～チャレンジ～成長の流れを作るベースには、やはり縁や仲間の存在がある。感謝と共感ができると、相手を思いやり、協調性、信頼もできてくるので、まずはこれらを大切にしていこうという話になりました。

〔ウェルビーイングカード：感謝、共感、チャレンジ、成長〕

ウェルビーイングの 4 つの視点（わたし／自分のこと、わたしたち／自分と他社のこと、みんな／社会のこと、あらゆるもの／世界や自然こと）で構成される 22 枚の対話のためのカードを使って、グループワークを行いました。

自分が一番大事にしたいウェルビーイング（わたしのウェルビーイング）を共有したあと、グループのみんなが折り合える 3 枚のウェルビーイングカードを実現する活動を話し合い、提案しました。



～檜谷さんコメント～

実はいろんなことをいろんな方々が、いろんな場所でやっているということをもっと見える化して、廿日市市というまちがいろいろな意味で、生涯学習も含めて、学びがもっともっと楽しく豊かなまちになるように、このご縁を大切に、仲間としてこれからも一緒に取り組んでいただけるととても嬉しい。

～保井先生コメント～

みなさん、すごく豊かなアイデアが出ていっちゃう。これが実はみんなで考える効果で、みんなが折り合えるものが何なのか探していくことで共創ができるようになっていきます。この中から一つでも二つでも「ちょっとやってみようよ」という話を始めていただきたい。それが生涯学習ということなのかなと思います。